

1. 本園の教育目標

キリスト教的人間観に基づき、幼児の個性を尊重し、適当な環境を与えて、心身共に健康で調和の取れた発達を助長する。

2. 27年度、重点的に取り組む目標・計画

子ども達一人ひとりの良いところを見つけて認め、伸ばすことに重点をおき、園での様々な活動に計画的に取り組める様、見通しを持って準備する。職員間の報告、連絡、相談を徹底して行い、教職員の共通理解をはかる。そして保育力向上の為に、自ら知識や技術を習得し保育及び指導内容の幅を広げる。

3. 評価目標の達成及び取組状況

評価項目	取組状況
職員間の連携	<ul style="list-style-type: none"> ・園長も変わり新しい職員も迎えての一年となった為、日々の保育の流れや行事のねらいや内容を、紙面化した。そのことにより会議もスムーズに進み、経験のある職員も改めて日々の保育の流れを振り返ることができた。 ・会議の時間を多くとり、日々の保育や行事に共通理解が持てるよう努力したことにより、保育者間の信頼関係も深まり、今まで通りという概念でなく、子ども達のために必要かどうかを検討することができた。 ・職員全員が小さなメモを持ち、すぐに書き留めることで、伝え忘れがないようになった。 ・終礼が出来ない日があったため、園長への報告が遅れることがあった。
整理整頓	<ul style="list-style-type: none"> ・日々は各保育室、職員室の整理整頓を心がけた。 ・夏休み、冬休みに全体の物の整理をしたことで、倉庫などにも余裕が生まれた。 ・毎朝、全職員で園庭の掃除をすることにより、環境を整えることへの意識も高まり、子ども達も後姿を見て、自分から整理整頓をするようになった。
登降園のマナー	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者の方の協力により、つり下げ名札着用が定着した。 ・登校園時のマナーにおいては、声をかけてはいるが危ない場面も多い。特に降園時は、子ども達も気持ちが開放されており、保護者に引き渡してからの怪我や事故が多く見られた。保護者の方にもご協力を願い、職員もマイクでの声がけだけでなく、直接呼びかけていくよう引き続き改善の努力をしていきたい
遊具点検	<ul style="list-style-type: none"> ・毎朝の清掃時に遊具の確認も行った。ねじのゆるみなどを見つけ対処した。また、遊具の車輪が老朽化していたことから交換をした。

4. 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

今年度のアンケートにおいては、保育の特色ということに対して評価が低く、カトリックの園であるということが保護者の方に伝わっていなかったことを反省させられた。

子ども達の満足度は高かったのですが、保護者の方や地域の方に向けての発信の強化を来年度の課題としたい。

今年より子どもたち一人ひとりの見取りを行うために、日々の保育の振り返りと共に、個人の振り返りを加えた。そのことにより、個々への指導目標が明確となった。引き続き続けていきたい。また、園内外の清掃を心がけた。毎朝の全職員の清掃による成果は子どもたちにも反映された。来年度の建て替えについては保護者会での報告を重ねているが引き続き、丁寧な報告を心がけていきたい。

5. 今後取り組むべき課題

課 題	具体的な取り組み方法
教職員のスキルアップ	<ul style="list-style-type: none"> ・教職員一同、教員としてふさわしい態度を身に着ける ・発達段階を踏まえ、子どもたちが自ら進んで物事を行えるような環境の研究と実践を行う。 ・カトリック幼稚園としての教諭としてカトリックの教えを知ることにおいて教職員全員が研鑽していく。
職員間の連携	<ul style="list-style-type: none"> ・建て替えの年にあたるため、昨年に引き続き職員間の報告・連絡・相談は課題とする ・前年度の反省を踏まえて、全職員での一日の振り返りの時間を必ず取り、けがや病気だけでなくクラスでの問題点、子どもの成長などを共有する時間とする。
安全確保	<ul style="list-style-type: none"> ・建て替えにより、様々な点に気を配りながら、安全を心がける ・工事を子どもの生活の中での大きな良い経験となるよう、保育の中に取り入れる。
保護者・地域との連携	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちの日々の様子を、保護者の方に様々な方法で発信する ・園舎建て替えによりご迷惑をおかけする、近隣の住民の方々、近隣の小学校に感謝を持ちながら、繋がりを持つ。 ・園の外へ出かけることも増えるので周りの方とかかわる態度を身につける。

● 28年度、重点的に取り組む目標・計画

子どもたち自身が安心して自分のやりたいことを選び行っていく保育を展開し、その中で子どもたち一人ひとりが大切にされていることを知り、神さまの愛を感じ取ってゆくというカトリック園としての使命を果たしていくために、教職員一人ひとりが日々研鑽する。

● 28年度の評価項目

・教職員のスキルアップ ・職員間の連携 ・安全確保 ・保護者、地域への発信

6. 学校関係者の評価

学校評価は適正に行われていると判断できます。

今後も園児たちにとって何が大切なのかを考え、目標設定してください。

また建て替えという大きな事業を抱え、安全確保に十分に力を注いでください。

今後とも園の特徴を生かし、地域に愛される、枚岡カトリック幼稚園であることを望みます。